

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい事を整理し、順序良く話すことに課題がある。</li> <li>・文章表現に抵抗を感じており、取り組みが遅かったり、書いたまま読み返さず終わりにしたりしてしまう。また、自力で作文を書くことに時間がかかる児童がいる。</li> <li>・登場人物の心情や順序に気を付けて説明の文章を読み取ったりすることに苦手な児童がいる。</li> <li>・漢字テストに意欲的に取り組む児童が多い。丁寧に整った文字を書けなかったり、習った漢字を日常で使わなかったりするため、定着が十分でない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会でのスピーチや、けやきタイムを活用し、話すことに慣れ、順序を意識して話せるようトレーニングを行う。</li> <li>・作文のための構成メモ作りに慣れるよう回数を重ね、書くことへの見通しをもてるようにする。短い日記や感想を書くという機会を多く取り入れ、良い作品を紹介する。</li> <li>・場面の移り変わりや展開に応じた行動の違いに印やアンダーラインを入れ、読み取りやすくする。また、文章の順序や繰り返される言葉に着目させる。</li> <li>・新出漢字の練習時だけでなく、書写の時間を重点的に、線の長さやとめ、はね、はらいなど字形を意識させた練習に取り組む。短文作りや日記で漢字を使うことを通して定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話すことに慣れ、順序がわかる言葉を使いながら話せる児童が増えてきた。</li> <li>○漢字は、繰り返し練習することで、8割以上の児童が正しく漢字を書くことができるようになった。</li> <li>○物語文や説明文などの段落を分けたり、場面の移り変わりを捉えたりする見方が育ってきた。</li> <li>△漢字テストと関係なく、文章の中で習った漢字を使うことを習慣化できるよう、日常で文を書く機会を増やす必要がある。</li> <li>△語彙力を伸ばすための学習活動を増やす必要がある。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な計算はできるが、文章題では、問題の読み間違いや単位の付け忘れなどのケアレスミスが目立つ。</li> <li>・問題の解き方の過程をノートに書いたり、自分の言葉で説明したりすることが苦手な児童がいる。</li> <li>・数量感覚が身に付いていない。長さや水のかさの単位変換につまずく児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章題などの問題把握の際、分かっていることや聞かれていることに線を引く活動を取り入れたたり、「あわせて」などのキーワードに着目するよう促したりして、問題場面をつかみやすくする。</li> <li>・絵や図、表などを用いて、自分の考えを書き表したり、説明したりする経験を多く作る。ペアで話し合ってから、全体で発表することで、見通しをもって活動できるようにする。</li> <li>・実測したり実物を用いたりしながら、数量感覚を体で実感する場を設ける。その際、長さや量の見当をつけてから測定を行うようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章問題の立式が8割の児童ができる。</li> <li>○かけ算九九は、8割以上の児童が正しく覚えることができた。</li> <li>○かさや長さの学習では、実際に量をはかる活動を取り入れ、量感が養われた。</li> <li>△自分の考えをノートに書くことができるのは、9割くらいになってきた。わかりやすく説明ができるのは、4割くらいである。残り6割の児童への手立ての工夫が課題である。</li> <li>△文章題の問題の把握ができず、図や式が書けない児童の個別指導の時間を作る必要がある。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味のあることや使ったことがある場所以外の地域のことをあまり知らなかったり、地域の人の関わりをもつ機会が少なかったりする児童が多い。</li> <li>・観察や植物の世話など意欲的に取り組むことが継続しない子がいる。自然に触れる経験が少ないので、知識や興味関心に大きな個人差がある。</li> <li>・気づきに個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のめあてをはっきりさせて町を探検し、気付いたことや疑問を基に次の活動に結び付けていながら地域の良さに気付けるようにする。</li> <li>・体験活動を多く取り入れたたり、電子黒板等ICT機器を活用して、写真や動画で自然を身近に感じられるようにしたりして、意欲や気づきを促す。併せて図書を活用していく。</li> <li>・比べたり、分けたり、関連付けたりするなどの気付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○野菜を育てて収穫した体験や小動物と触れ合いながら温もりを感じる活動を通して、生き物に愛着をもつようになった。</li> <li>○町探検を通して、町の様子や町の人の思いや願いに気付くことができた。</li> <li>△気付いたことを絵や文で表記する力が不十分なので他教科と関連させて指導を工夫していく。</li> </ul>

		きを促す具体的な活動を取り入れる。学習カードの良い気付きにアンダーラインを引く。発表や掲示をして友達の良さを見付け、全体で共有する活動を取り入れる。	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボール操作の技能に個人差がある。(特に投げる、捕る)</li> <li>握力が弱く、ジャングルジムや鉄棒、雲梯が苦手な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の実態に合わせてゲームのルールを工夫したボール遊びを取り入れる。</li> <li>楽しく運動に取り組めるようルールの工夫をし、投げる、捕る機会を増やすようにする。</li> <li>学習カードを活用し、めあてをもって活動に取り組めるようにする。</li> <li>自重を手で支えられるようマット運動や跳び箱運動の補助運動を工夫する。</li> <li>ペアを組み、アドバイスを互いにしながら技能の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○短縄遊びでは、学習カードを使って自主的に取り組み、運動量が増えた。</li> <li>○鉄棒遊びの学習では、ペアで励まし合いながら技を磨き合っていた。</li> <li>○マット運動では、くま歩きやあざらし歩き、川跳びなどを取り入れ、自重を手で支えることができた。</li> <li>△ゲームの学習では、勝ち負けに意識が向き、自分の動きの振り返りが弱いので、事前の指導を工夫していく。</li> <li>△苦手な児童への個別指導が行き届かなかったため、今後の指導の課題とする。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>拍によってリズムを唱える活動は、どの児童もできるようになったが、リズムリレーでは、リズムにのりきれず止まってしまう児童がいて音楽の流れが止まってしまう場面がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズムボックスを利用して、いろいろなリズムによって言葉を唱える活動を取り入れる。リズムによってつくった音楽を全体でリレーをする活動を取り入れる。</li> <li>レベルにあった楽譜を用意し、自信を持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△いろいろなリズムを体で感じ取ってクラス全体で演奏することは普段の体験不足のため、スムーズにいかない場面があった。</li> <li>○いろいろなレベルの楽譜を用意することによってできるという思いをもたせることができた。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>つくる方法や順番がわからない。</li> <li>自分の活動に自信がもてない。</li> <li>身近な自然や人工物を基に思い付いてつくる体験が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作例や見本を示し、活動の見通しをもち、自分のイメージを広げる。</li> <li>自分のイメージをもつための十分な時間を保障する。</li> <li>体全体をつかいながら材料とかかわる題材を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作例や見本を示すことで、活動の見通しをもち、自分のイメージを広げることができた。</li> <li>△十分な時間を保障するだけでなく教師の言葉かけや友達の活動を鑑賞することが必要である。</li> <li>○造形遊びの授業で主体的に石や葉などの材料とかかわる姿が見られた。</li> </ul>